古城小だより

旭市立古城小学校 令和1年11月6日



NO. 15

豊かな心をもち、自ら学び、たくましく生きる子の育成

秋晴れに心癒される

9・10月は、週末のたびに台風や大雨に見舞われ、大きな災害となり、心が痛む二ケ月でした。その中で、修学旅行・宿泊体験学習・校外学習・親子遠足・旭農業高校との食育事業など、たくさんの体験学習がほぼ予定通りにできたことはありがたいことです。様々な体験は、子ども達の生きた知識となり、心の成長となったはずです。

11 月に入り秋晴れの空を見ると、さわやかな気持ちになります。やっと、天候も安定してきました。今月は、古城っ子が大いに「表現する」月です。市音楽会・古城っ子フェスタ・マラソン大会など、自分の気持ちや学びや努力の成果を発表します。古城っ子は、どちらかというと「表現する」ことに抵抗がある児童が多いかもしれません。だからこそ、発表の場を自分が成長できるチャンスと考えて、力を出して欲しいです。これらの行事は、保護者の方々にも参観していただけますので、時間に都合のつく方は、子ども達への応援をお願いします。(本日の市音楽会の内容は次号に掲載予定です。)



しっかり学習、習慣が大切 家庭学習・読書の充実

9月、夏休み中の学習の成果を確認する「国語検定」「算数検定」を実施しました。どのクラスも、努力の成果が見られ、1回の検定で合格できる児童数が増えたり、満点合格をとったりする児童も複数出てきました。保護者の皆さんの声かけや励ましが大きかったように思います。ありがとうございました。次回は、12月。2学期のドリルから出題されます。

では、その後の家庭学習の様子はいかがでしょうか。検定で合格点を採ることは大切ですが、「学習内容が自分の力として身につくこと」や「学習習慣が確立されること」、また、「目当てをもって頑張ることができる」ということはもっと大切なことです。古城小では、低学年20分、中学年40分、高学年60分を目標に家庭学習を呼びかけています。10月の家庭学習強化週間でまとまった調査結果の一部が左の表です。

今回の調査から見えてきたことは、以下の3点です。

	平均時間
1学年	36.0分
2学年	22.8分
3学年	43. 1分
4学年	39. 9分
5学年	49.8分
6学年	46.8分

- ① 低・中・高学年と進むほど学習時間は若干増えているが、1年生と6年生の学習時間の差は10分程度、高学年ほど目標時間が達成しにくい。
- ② 平均値ではわかりにくいが、土・日の学習時間が少ない子が多く、土日は、全く勉強しないという児童も全学年に見られる。(平日の方が家庭学習をしている)
- ③ 個人差が大きい。(学級人数が少ないために、一人の極端な結果により平均としての数値が大きく変化する。)
- 各家庭の様子と比較していかがでしょうか。

古城小の子ども達は具体的に目標を示してあげれば、それに向かって 前向きに頑張れる児童です。「今よりあと10分」。自分自身のために 日々の家庭学習を積み上げられるよう学校でも働きかけていきます。家庭 でも声かけや励ましをお願いします。

また、古城小では読書活動の推進の一つとして「読書1000ページで読書がんばり賞」を贈っています。今年は、読書カードの中に、その学年で是非読んでほしい作品(教科書より抜粋)を示し、学年の発達段階にあった本に触れられるように工夫してあります。読書に勤しむ、そして、読書の質を高めることを狙った取組です。ちなみに、読書の効果が様々言われる中で、ベネッセ教育情報サイトによる36万人のデータからは、「読書量が多い子どもほど、学力を伸ばしていること」のほかに、「算数では、読書量が「多」い子どもの偏差値と「無」しの子どもでは、4.8ポイントの差が開いており、学力変化に一定の影響を与えていること」が分かったそう

読書の秋 読書項張り員 進捗状況		
学年	枚数	授与人数
1年	30	13
2年	28	11
3年	30	11
4年	62	20
5年	56	20
6年	54	17
全	260	92

注書のも 注書記引き 米州中海

です。つまり、「読書量が多いほど、算数ができる」ということです。また、脳科学者 茂木健一郎さんは「科学の 観点から言うと、本を読んで何かに感動したり、興味を持ったりして、その後、読書体験を重ねてその感動 や興味がさらに深まることを繰り返すと、読書に関係する回路が強化されます。その結果、論理的思考力や コミュニケーション能力が高い 「地頭(じあたま)」の強い子になるんですよ。」と言っています。

現在、秋の読書週間です。読書の秋を満喫してみてはいかがですか。



お便りを読んでの感想や学校行事へのご意見等、保護者方の声をお聞かせください。